第３次高浜町人権教育・啓発に関する基本計画素案に関する
パブリックコメントにおけるご意見と町の考え方

No.	ご意見概要	町の考え方
第２章　高浜町の現状		
1	・グラフの回答項目をアンケートの設問順はなく、回答の多い順にした方が見やすい	回答の多い順に修正します
第４章　人権問題別の取組		
2	1 女性 ・性的マイノリティの項目と重なるが「女性」という見出しは適切か、性別、性差等に改めてはどうか	上位計画である、国の人権教育・啓発に関する基本計画（第二次）においても、「女性」として区分されておりますので、そのままの表記とします。
3	２性的マイノリティ ・アライやレインボーフラッグ等の視点も加える	主な取り組みとして啓発や情報提供が主になるので、「性の多様性に関する啓発の推進」の項目に、アライやレインボーフラッグを情報として周知するという形で表記します
4	３こども ・社会教育、こども食堂、地域の取組みの連携、地域の居場所づくり等の視点を加える	「不登校児童生徒への支援」の項目を「地域と連携した多様な居場所づくり」とし、不登校児童も含めた居場所をづくりを進めるように修正します
5	４高齢者 ・公民館との連携を加える	「高齢者の学習機会の充実」の項目に公民館の連携を加えます。
6	５障がい者 ・インフラ整備（車いす歩道、段差解消、施設のバリアフリー）、盲導犬を加える	「誰もが使いやすい環境整備」の項目を加え、インフラのバリアフリー化を謳います。 盲導犬については相談体制と意思決定支援体制の強化の相談体制の充実や障がい福祉サービスの周知に含まれていると考えます。
7	６外国人 ・日常生活に必要なもの（ごみ、病院、避難経路）等への外国語による掲示（表示）、翻訳を加える	「外国人に対する安全確保のための広報・指導」の項目を「安全・安心の暮らしの手の広報・指導」とし日常生活にかかわる部分を追加します。
8	７部落差別（同和問題） ・研修参加者の固定化を防ぐ、個々人の意識、正しい歴史認識の視点を加える	「同和問題解消に向けた教育・啓発の推進」の項目に講演会や研修の実施に研修参加者の固定化への対応を加えます。個々人の意識、正しい歴史認識の

		視点については、ターゲットに応じた教育や講演会・研修の実施目的の一つとして明記しません
9	９インターネット上の人権問題 ・生成ＡＩへの対応を加える	「インターネット上の人権問題や利用に関する教育・啓発」の項目に、生成ＡＩに関する情報や適切な利用等について明記します
第５章　人権教育・啓発		
10	１学校における人権教育 ・この 10 年でさらに生成ＡＩが高度化するので、興味本位での生成ＡＩによる加工防止を加える	「情報モラルの育成」の項目に生成ＡＩに関する教育を加えます
11	２地域社会における人権教育・人権啓発 ・地区公民館との連携を加える	「地域社会における人権教育の推進」の項目に地区公民館の連携を加えます
12	５公的な仕事に関わる者に対する人権研修 ・研修会への参加、視察研修等への助成を加える	研修の参加については、方向性の中で研修の充実をうたっております。 視察研修等への助成については、町職員や人権団体の参加については助成しておりますが、各特定事業従事者の方に向けての助成は今後の課題とさせていただきます
13	・「高浜町企業と人権の会」と「企業と人権の会」の表記の揺れ	「高浜町企業と人権の会」に表記を統一します
資料編		
14	用語解説 ・LGBT 理解増進法を加える ・こども家庭センターを加える ・差別と人権を考える高浜町実行委員会を加える ・ストーカー規制法を加える ・高浜町企業と人権の会を加える ・犯罪被害者等基本法を加える ・福井県パートナーシップ宣誓制度を加える ・説明が長くなったりするようなものは、より理解を深めてもらうため QR コードを付けてホームページに飛ばしてはどうか	 ・追加します ・追加します ・追加します ・追加します ・追加します ・追加します ・追加します ・文章での表記で対応します。